



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 みずほリース株式会社
 コード番号 8425 URL <https://www.mizuho-ls.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津原 周作
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 近藤 竜太郎 TEL 03-5253-6511
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	114,038	△3.6	8,572	34.2	11,538	64.7	8,139	64.1
2022年3月期第1四半期	118,264	2.5	6,385	8.0	7,003	7.9	4,961	△33.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 19,748百万円 (88.3%) 2022年3月期第1四半期 10,488百万円 (128.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	168.26	—
2022年3月期第1四半期	102.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,727,499	247,770	8.6
2022年3月期	2,748,810	230,803	8.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 235,757百万円 2022年3月期 219,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	65.00	—	65.00	130.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	2.7	28,000	56.5	35,000	74.4	26,000	74.5	537.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	49,004,000株	2022年3月期	49,004,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	626,799株	2022年3月期	626,799株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	48,377,201株	2022年3月期1Q	48,371,259株

(注) 期末自己株式数には、当社の株式給付信託が保有する当社株式（2023年3月期1Q 625,900株、2022年3月期 625,900株）を含んでおります。

また、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2023年3月期1Q 625,900株、2022年3月期1Q 631,900株）を含んでおります。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2022年8月4日に、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 契約実行高	9
(2) 営業資産残高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数減少により行動制限が緩和され、経済活動再開の動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の影響による資源価格高騰、米金利を中心とする金利上昇および円安の進行など、先行きの不確実性は高まっており、引き続き留意が必要な状況と認識しております。

このような状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間のリース・割賦、ファイナンスおよびその他の契約実行高の合計は、前年同期（2021年6月期）比11.1%減少して234,233百万円となりました。

リース・割賦の契約実行高は、情報通信機器での大口案件の捕捉はあったものの不動産ブリッジ案件が減少したことにより、前年同期比15.5%減少して77,708百万円となりました。ファイナンスの契約実行高は、不動産ファイナンスが増加した一方で、契約期間が短期の商流ファイナンスが減少したことから、同8.8%減少して156,525百万円となりました。

損益状況につきましては、売上高は、前年同期比3.6%減少して114,038百万円となりました。売上総利益は、過年度より収益性の高い不動産やファイナンスの資産積上に注力し、採算が改善した結果、同26.6%増加して15,992百万円となり、営業利益は一部外貨建て資産の引当等を計上したものの、同34.2%増加して8,572百万円となりました。経常利益は持分法による投資利益が増加したことから、同64.7%増加して11,538百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同64.1%増加して8,139百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（売上高は外部顧客への売上高を記載しております。）

〔リース・割賦〕

リース・割賦の売上高は前年同期比5.3%減少して108,165百万円となりましたが、収益性重視の取組等により、営業利益は同19.3%増加して6,253百万円となりました。

〔ファイナンス〕

ファイナンスの売上高は前年同期比46.8%増加して5,655百万円となり、営業利益は同33.3%増加して3,752百万円となりました。

〔その他〕

その他の売上高は前年同期比17.8%増加して217百万円となり、営業利益は同33.0%増加して66百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、リース・割賦、ファイナンスおよびその他の営業資産残高の合計は前期（2022年3月期）末比1.3%減少して2,384,032百万円となりました。

セグメント別では、リース・割賦（割賦未実現利益控除後）の残高は前期末比1.6%減少して1,569,417百万円、ファイナンスの残高は同0.9%減少して814,615百万円となりました。

有利子負債残高につきましては、前期末比1.0%減少して2,352,600百万円となりました。

内訳は、短期借入金が前期末比0.4%減少して378,616百万円、長期借入金が同1.4%減少して909,886百万円、コマーシャル・ペーパーが同1.6%減少して695,900百万円、債権流動化に伴う支払債務が同7.0%減少して106,500百万円、社債が同4.3%増加して261,697百万円となっております。

また、純資産合計は247,770百万円、自己資本比率は8.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました数値より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,348	24,988
受取手形及び売掛金	549	573
割賦債権	109,376	104,250
リース債権及びリース投資資産	1,172,643	1,150,863
営業貸付金	395,300	417,263
その他の営業貸付債権	187,180	141,524
営業投資有価証券	239,843	255,827
賃貸料等未収入金	4,925	4,744
その他	32,762	34,816
貸倒引当金	△1,249	△1,229
流動資産合計	2,166,681	2,133,622
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	304,880	307,291
貸貸資産前渡金	0	117
貸貸資産合計	304,881	307,409
社用資産		
社用資産	3,585	3,527
社用資産合計	3,585	3,527
有形固定資産合計	308,467	310,936
無形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	10,107	9,970
貸貸資産合計	10,107	9,970
その他の無形固定資産		
ソフトウェア	6,266	5,889
その他	359	365
その他の無形固定資産合計	6,625	6,254
無形固定資産合計	16,732	16,225
投資その他の資産		
投資有価証券	203,654	214,066
破産更生債権等	32,691	32,298
退職給付に係る資産	856	829
繰延税金資産	9,804	8,680
その他	18,403	19,490
貸倒引当金	△8,482	△8,649
投資その他の資産合計	256,928	266,714
固定資産合計	582,128	593,876
資産合計	2,748,810	2,727,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,698	19,625
短期借入金	380,278	378,616
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	240,456	230,282
コマーシャル・ペーパー	707,100	695,900
債権流動化に伴う支払債務	92,858	88,871
リース債務	10,382	11,275
未払法人税等	4,459	1,285
割賦未実現利益	2,775	2,958
賞与引当金	1,265	121
役員賞与引当金	92	3
役員株式給付引当金	151	151
債務保証損失引当金	19	17
その他	43,838	46,459
流動負債合計	1,548,375	1,505,567
固定負債		
社債	220,998	231,697
長期借入金	681,948	679,603
債権流動化に伴う長期支払債務	21,603	17,628
役員株式給付引当金	504	504
退職給付に係る負債	2,349	2,165
受取保証金	31,038	30,761
その他	11,188	11,799
固定負債合計	969,632	974,161
負債合計	2,518,007	2,479,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,088	26,088
資本剰余金	23,941	23,941
利益剰余金	158,966	164,411
自己株式	△1,709	△1,709
株主資本合計	207,286	212,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,252	10,429
繰延ヘッジ損益	△1,817	△3,167
為替換算調整勘定	5,977	15,035
退職給付に係る調整累計額	747	728
その他の包括利益累計額合計	12,159	23,026
非支配株主持分	11,357	12,013
純資産合計	230,803	247,770
負債純資産合計	2,748,810	2,727,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	118,264	114,038
売上原価	105,633	98,046
売上総利益	12,631	15,992
販売費及び一般管理費	6,245	7,419
営業利益	6,385	8,572
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	200	148
持分法による投資利益	583	3,043
その他	87	143
営業外収益合計	872	3,336
営業外費用		
支払利息	231	295
その他	23	74
営業外費用合計	255	370
経常利益	7,003	11,538
特別利益		
投資有価証券売却益	—	64
特別利益合計	—	64
特別損失		
投資有価証券評価損	8	8
特別損失合計	8	8
税金等調整前四半期純利益	6,995	11,594
法人税、住民税及び事業税	1,507	2,101
法人税等調整額	351	967
法人税等合計	1,859	3,069
四半期純利益	5,136	8,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	174	385
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,961	8,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,136	8,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	3,817
繰延ヘッジ損益	△285	△1,402
為替換算調整勘定	5,106	7,842
退職給付に係る調整額	△6	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	685	982
その他の包括利益合計	5,352	11,223
四半期包括利益	10,488	19,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,988	19,006
非支配株主に係る四半期包括利益	500	742

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、市場価格のない株式等として取得原価をもって四半期連結貸借対照表価額としていた一部の投資信託について、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とすることに変更しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リース・割賦	ファイナンス	その他			
売上高						
外部顧客への売上高	114,228	3,851	184	118,264	—	118,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	218	39	315	△315	—
計	114,285	4,070	224	118,579	△315	118,264
セグメント利益	5,239	2,814	49	8,103	△1,717	6,385

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,717百万円には、セグメント間取引消去158百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,876百万円を含めております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リース・割賦	ファイナンス	その他			
売上高						
外部顧客への売上高	108,165	5,655	217	114,038	—	114,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	312	37	412	△412	—
計	108,227	5,968	255	114,451	△412	114,038
セグメント利益	6,253	3,752	66	10,072	△1,499	8,572

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,499百万円には、セグメント間取引消去146百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,646百万円を含めております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 契約実行高

第1四半期連結累計期間における契約実行高の実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
		契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	契約実行高 (百万円)	構成比 (%)
リース・ 割賦	ファイナンス・リース	57,044	21.7	58,397	24.9
	オペレーティング・リース	25,118	9.5	13,597	5.8
	リース計	82,163	31.2	71,994	30.7
	割賦	9,790	3.7	5,713	2.5
		91,953	34.9	77,708	33.2
	ファイナンス	171,562	65.1	156,525	66.8
	その他	—	—	—	—
	合計	263,515	100.0	234,233	100.0

(注) リースについては、第1四半期連結累計期間に取得した賃貸用資産の取得金額、割賦については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(2) 営業資産残高

営業資産残高をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前連結会計年度		当第1四半期連結会計期間	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・ 割賦	ファイナンス・リース	1,172,643	48.5	1,150,863	48.3
	オペレーティング・リース	314,988	13.1	317,262	13.3
	リース計	1,487,631	61.6	1,468,125	61.6
	割賦	106,601	4.4	101,291	4.2
		1,594,233	66.0	1,569,417	65.8
	ファイナンス	822,324	34.0	814,615	34.2
	その他	—	—	—	—
	合計	2,416,558	100.0	2,384,032	100.0

(注) 割賦については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。